



第18回国際文化交流会が行われました！

7月18日に第18回国際文化交流会が開催されました。今年は日本語スピーチ部門で11名、プレゼンテーション部門で3名、そしてゲストスピーチとして、ムンド・デ・アレグリア学校様から1名ご参加いただき、計15名の学生が自分たちの想いを言葉に乗せて発表をしてくれました。

今年のスピーチテーマは家族に始まり、言葉、環境、人生観、文化、夢など多岐にわたっており、ご来場くださったお客様たちには、外国人留学生ならではの感性や価値観の一端を感じいただけたのではないかと思います。また、プレゼンテーション部門では、粗削りながらも、写真やグラフなど視覚的なツールを用いて、スピーチとはまた一味違った発表をしてくれました。金賞を受賞したのはBクラスのミャンマー人ウイントウエさんで、コンビニの廃棄問題について切り込み、内容も深く、また堂々且つ流暢に演説し、非常に安定したパフォーマンスを披露しました。

今年度は会場都合で開始時間が例年よりも40分ほど遅く、終了時間が13時を回ってしまうのではないかと気を揉んでおりましたが、定刻通り、盛況のうちに終えることができました。これも一重に、司会のリアさん、アスミタさん、ボランティアやスピーチ応援の学生たち、事前指導や進行サポートに尽力してくれた教職員、会を盛り上げてくださった静岡殺陣同好会の皆様、お忙しい中お時間を割いてくださった審査員の方々、そしてご来場いただけなかった方も含め、平素より学生を支援してくださっている多くの関係者の方々など、非常に多くの人々のご支援の賜物であると感じております。この経験は参加した学生のみならず、全ての在校生にとって、今後の学習の励みになったことと思います。

改めて、ここに感謝の意を申し上げます。(佐藤)



オープニングの歌♪



出場者の皆さん、よく頑張りました！



たくさんの方にお越しいただきました。



司会(左から)
リアさん(インドネシア)
アスミタさん(ネパール)

スピーチコンテスト出場者



金賞
ウイントウエさん
「コンビニから見えること」



銀賞
フンさん
「小さな変化を起こそう」



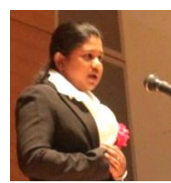
銅賞
リザさん
「ひまわりの哲学」



新宿日本語学校賞
ジンミンユさん
「ミャンマー人の人との接し方」



会場賞
パオ ウインさん
「天国言葉と地獄言葉」



会場賞
ケネディさん
「びっくりした日本の自動販売機」



ヒュンソンさん
「あなたの唯一のもの」



ジュリアさん
「伝統的なゲーム」



メイさん
「それだけで十分」



ニェイン チャンさん
「水と私たちの未来」



スチさん
「音楽の力」

プレゼンテーション部門



身振り手振いを
使って

ニテシュさん「最高の教育とは」



会場を巻き込んで
わかりやすく

ハムザーさん「漢字」



大きいスクリーンを使う
て、発表しました

ヌルルさん「あきらめない生き方」

お楽しみ企画・殺陣

お楽しみ企画と題し、静岡殺陣同好会の皆様が殺陣のパフォーマンスを披露してくださいました。迫真の演技に会場は終始時間を忘れ見入っていました。体験コーナーでは殺陣の動き方を教えていただき、学生も真剣な面持ちで取り組んでいました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

上手ですね！



金賞受賞者のスピーチを紹介致します。

コンビニから見えること

Bクラス ウィン トウエ（ミャンマー）

日本のコンビニは一人暮らしをしている人にとってとても便利です。何でも欲しいものが揃っていて、お弁当は見るだけで、食べたくなります。

私は、コンビニでアルバイトをしてみたいと思うようになりました。なぜかという、お客様とコミュニケーションをとることで、日本語が学べるからです。コンビニで、実際に働いてみると日本語はもちろん、様々なことが勉強できます。

日本は食べものについてすごく厳しい国だと分かりました。たとえば、時間がきたら、食べものを廃棄するのです。

そして、アルバイトにだんだん慣れてきて廃棄にも二つ種類があることを知りました。それは賞味期限と消費期限です。

賞味期限は期限がすぎたら、おいしくないけど、食べることができるということで、消費期限は期限がすぎたら食べてはいけませんということです。

しかし、見た目は新鮮なものなのに捨ててしまうということに私はびっくりしました。日本では、食料を一から作るとコストもかかるし、作る土地もかぎられているのでほとんど輸入にたよっていると聞いたことがあります。

なので、わざわざ輸入して作ったものを捨てるなんて、もったいないなあという気持ちがつよくなってきました。

私が働いているコンビニは賞味期限がギリギリのものをもらっても大丈夫なので、私は自分が食べきれる量を食べたり持って帰ることにしました。だんだん私の持ち帰る量は増えていきました。

ある日、店長に「何で、こんなに持ち帰るの、食べきれる？」と言われました。その時私はよくないことだと思いましたが、友達のおんだと答えました。店長に怒られるかなと思いましたが、逆にほめられました。

いつもあげている友達は「今日は何を持って来たの」とあいさつより先に言うくらいです。私の顔を見るより、手元の袋を先に見ていることもあります。

そして「おい！ミスター廃棄マン」と呼ばれたこともあります。でも食べものも無駄にならないし、友達に喜んでもらえるので、私も嬉しいです。

私が働いているコンビニだけでも食品の一日の廃棄はとても多いです。では、日本全国だったら、どれくらいの量になっているのでしょうか。

さらに、スーパーやレストランなども合わせたら、いったい、どれだけの量が捨てられているのでしょうか。私は、インターネットで検索してみました。皆さん、日本の食品廃棄率は世界一でした。

ところで、商品を日付が近い順に並べることを「先入れ先出し」と言います。私がコンビニで働いた経験によると先入れ先出しをしたのに、賞味期限が新しいものを奥の方から買っていくお客様が多いです。

もし、すぐに食べるとしたら、賞味期限が近くても大丈夫なので、前から順番に買ってほしいと思います。

こんな小さなことでも全国の人達が心がけてくれたら、廃棄率は減らせるのではないのでしょうか。

銀賞受賞者のスピーチを紹介致します。

小さな変化を起こそう

A クラス チャン クオック フン (ベトナム)

ある時、私は自分の生活がつまらなく感じました。そして何か新しいことをしてみようと思いました。そんな時、私はある本に出会い、この本に書かれているようにやってみました。やり方は、「30 日間で自分の好きなことをやってみよう」というとても簡単なものでしたが、私に大きな変化が起きました。

30 日という時間は決して長くありませんが、自分の生活を見直すには適当な時間です。この本の通りにすれば、つまらない生活、無駄の多い生活習慣を変えることができ、毎日が有意義なものになります。その 30 日間で私が何をしたか、皆さんに紹介します。

そのころ私はパソコンに熱中していて、毎日、パソコンから離れられませんでした。そこで、まず海に行ってみました。私は海が好きだったからです。そして「好きなことだったら、こんなに簡単にできる！30 日あったら、他にもきっと好きなことが何でもできる！」と思いました。それで私は以前からずっとやりたかった「本を書くこと」にチャレンジし、30 日間で 5 万字の本を書いてみました。5 万字ですから、計算してみると、1 日に 1300 字書いたことになります。

30 日の間には、くたびれていやになったこともありました。このチャレンジをする前の私であれば、毎日の中で、その日のうちに決めたことでも、できそうになかったらすぐ次の日に回してしまいましたが、この 30 日間では、毎日、必ず 1300 字書きました。これは私の中で起きた小さな変化です。そして何とか頑張って 5 万字の本を書き終わりました。「日本の漢字」についての本です。私の書いた本は有名になるだろうか？誰かが私の本を読んでみたいと思うだろうか、当然そんなことはありません。でも私はやっと自分のやりたかったことをやりました。

30 日が終わって、私は以前より自信を持つようになり、そして最後にあることがわかりました。それは小さい変化でも、それを積み重ねるとだんだん大きい変化になるということです。

私たちは、誰にでも好きなことがあるはずです。絵を描く画家になりたい人は、30 日でできるだけたくさんの絵を描いてみませんか。歌手になりたい人は、30 日間、好きな歌を歌い続けてみたらどうでしょうか。好きなことを実現することはとても簡単ですが、でも、もし今やらなければ、永遠にできないかもしれません。

何かをやってもやらなくても、30 日という時間は流れて行ってしまいます。それなら私たちは何を待っているのでしょうか。どうして自分の好きなこと、やりたいことを、今、始めないのでしょうか。

みなさん、私のように、ぜひ 1 回自分の好きなこと、やりたいことをやってみてください。私たちの中で小さな変化が起き、それを続けると大きな変化を起こすことができ、最後には、面白いことが見つかるはずです。

7月生入学式

7月18日(土)、グランシップにて7月生の入学式が行われました。45名の新入生は緊張しつつも期待に満ちた表情で式に臨みました。

初めのうちは戸惑いを見せていた学生も、式が進むにつれ、他の国の学生、日本人の方と楽しく交流しはじめました。

新入生代表としてJクラス・ファンさん、Kクラス・カビルさん、Lクラス・アディさん、Mクラス・パインさん、01クラス・ラミアさん、02クラ

ス・ハルシャニーさんの6名が今後の抱負について話をしてくれました。

学生一人一人の描いている将来に近づけるよう、ことば学院での生活を悔いなく過ごしてほしいと思います。

(川勝)



世界のカレー・ピクニック交流会 その2

8月2日(日)、山梨県の西湖近くにある紅葉台キャンプ場にて世界のカレー・ピクニック交流会が行われました。昨年行われた第1回目につき、第2回目の開催となった今回は、学生や支援者の方々を始め、静岡の高校生の方々にもご参加いただき、約200名の大所帯となり大変盛り上がりました。貸し切りバスで現地へ向かい、ハイキング班とクッキング班に分かれ、ハイキング班は自然いっぱいの山を歩き、クッキング班は世界各国のカレーやサラダを料理しました。この日は天気も良く、絶好のピクニック日和で、学生たちも自然を満喫できました。カレーやサラダもとても美味しく、おかわりを求める学生がたくさんいました。学生たちにとって夏休み初めの良い思い出となったことでしょう。(甲斐)



2015わくわくサマーキャンプ

8月15日(土)～17日(月)の3日間、NPO グローバルハーモニー様主催の「2015 わくわくサマーキャンプ」が行われ、本校の学生が数名参加しました。静岡の大学生と一緒に、古民家に宿泊したり、川遊びや天体学習、料理等をし、とても楽しい体験ができました。ありがとうございました。参加した学生の一人、Kクラスのチュアンさん(ベトナム)に感想を聞きましたので紹介します。



チュアン サマーキャンプ

サマーキャンプはとっても楽しかったですね！ほんとに美しい風景でクールです。これは、私が日本人のともだちと一緒に旅行は初めてです。いろいろなことを教えてくれたんです。たとえば、さんさんを日常言葉を使いました。日本伝統の料理を作ってくれました。楽しくて経験がたぐひあるので次のサマーキャンプをぜひ参加しようと思っています。



八幡神社例大祭

8月15日(土)に、八幡神社の例大祭があり、今年も学生たちが参加させていただきました。学生たちは法被を着ておみこしを担ぎ、日本の夏の風物詩を堪能していました。地域の方々とも交流でき、良い思い出になったことでしょう。毎年このような機会を与えてくださる地域の皆様、ありがとうございます。



神主さんのお祓いを受けています。



2015年度10月生

在留許可

8月28日(金)に、2015年度10月生の在留許可が下りました。9カ国、計20名になります。



インドネシア

1. ALFIZAR FARHAN THABRANI (男)
2. SAFA ANNISA FRISKA (女)



中国

1. 張 紫荊 (女)



モンゴル

1. GANTOGOO KHISHIGJARGAL (女)



台湾

1. 王 韻童 (女)



バングラデシュ

1. HOSSAIN DELOAR (男)



フィリピン

1. OKADA EILEEN MAE (女)



ベトナム

1. LA NHAT MINH (男)
2. HA THI THUONG (女)



ミャンマー

1. THANT ZIN WIN (男)
2. NANDAR WIN KYAW (女)
3. KHAING WAI LWIN (女)
4. THET PAING OO (男)
5. EI EI MYINT AUNG (女)
6. YAN MYO KYAW (男)
7. HSAUNG HNIN PHYU (女)
8. EI THA ZIN PHYO (女)
9. THEIN WIN TUN (男)



ネパール

1. BHATTARAI POOJA (女)
2. TIMALSINA NAMARAJ (男)

秋の文化祭のお知らせ

第12回 秋の文化祭

●日時…2015年10月10日(土)

★展示部門 12:00~15:00 予定

★ステージ部門 13:00 開場/13:30 開演/
15:45 終演予定

●場所…静岡市民文化会館

●内容…盛りだくさん

※詳細は別紙をご覧ください。

入場料無料です!

皆様のお越しを心よりお待ちしております!



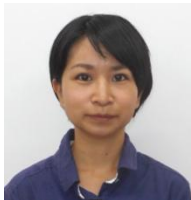
日本語教師紹介

夏学期より授業を担当している教師の紹介を致します。



望月裕子先生

はじめまして、望月裕子です。7月より、国際ことば学院日本語学校で日本語教師として働いています。皆さんと一緒に勉強するのをずっと楽しみにしていました。まだまだ慣れないことが多いですが、早く皆さんと皆さんのお国の事を知りたいと思います。ぜひ、いろいろ教えてください。よろしくお願いします。



杉山未咲先生

はじめまして、杉山未咲と申します。7月から国際ことば学院日本語学校で働いています。まだ慣れないことばかりで、日々勉強の毎日ですが、たくさん吸収していきたいと思っています。様々な国の学生達と勉強し、一緒に成長できたらいいなと思っています。どうぞよろしくお願いします。



吉岡夏美先生

はじめまして。吉岡夏美と申します。7月から国際ことば学院日本語学校で木曜日に日本語教師として働いています。学生の皆さんと一緒に勉強できるのが、とても楽しいです。皆さんの国のことや国の言葉をあまり知らないので、ぜひ教えてください。どうぞよろしくお願いします。

退職のご挨拶

7月末に、日本語教師の白川ひかり先生が退職されました。今後は日本を離れて生活されます。新天地でのご活躍を心よりお祈りしております。



2013年夏から2年間ことば学院でお世話になりました。先生方をはじめ関係者の皆様には、大変お世話になりました。授業で出会った学生の皆さんには、いつも笑顔をもらいました。最後の担任となったクラスの皆さんは、とても良い(E)クラスでした。9月より中国の大学院に進学します。言語学を学び、「ことば」についてじっくり研究する3年間にしたいと思います。行ってきます！

ご寄付ありがとうございます

佐藤幸一様
廣田勝彦様
はっとりテント様
金井順子様
堀ひろ子様
青木様

冷蔵庫
カーペット
冷蔵庫、布団等
洗濯機
布団等
布団



大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

<編集後記>だんだんと日が短くなり秋の気配を感じるようになりました。「～の秋」と言いますが、今年の秋は読書の秋にしようと思います。学生達の母国ではどのような本が多く読まれているのか気になるところです。そして本校の秋と言えば10月10日(土)に行われる文化祭。今年も皆準備に気合が入っています。多くの方のご来場をお待ちしております。(甲斐)